



▲冒険山でのびのび遊ぶ園児たち

今年度は『自然の中で、心と体を育てよう』を保育テーマとして、取り組んでいます。

冒険山は、中山地区の有志の皆さんが自然の中のびのびと遊ばせてあげたいという思いから、草刈りをしていただきます。子どもたちも、春には自分たちの遊び場を整えよう

と、年長児・年中児がたくさん落ちている栗のイガ集めをしました。背丈ほどもある草をかき分けて進んだり、ロープを使って急な斜面を登ったりすることができ、まさに子どもたちの興味をかきたてる冒険山です。春見つけの時は、クロモジの枝を匂ったり、草いちごを見つけて味わったり、たけのこを掘ってたけのご飯を作ったりしました。また四季彩園で拾った梅で梅干し作りもしました。

もりっこ隊や地域の方にお世話になりながら園庭をとび出して、さまざまな場所で多くの体験をします。田んぼでの泥遊び、甲川での水遊び、田植え・稲刈り等の体験は、普段と一味違った多くの発見と驚きを子どもたちに与えてくれます。

幼児期は、全身でいろいろなことを感じ取ることが大切で、知識以上に体験を重ねていくことが重要だと言われています。自然のたくさんの刺激の中で、子どもたちが自分で楽しむ方法を見つけていくことができます。保育を大切にしています。

# 自然の中には、 子どもがワクワクがらっぱい 中山みどりの森保育園

## 中山みどりの森保育園



▲地蔵の前で解説も

11月3日に紅葉ウォークを、大山公民館大山分館主催で行いました。秋空のもと、大山農村環境改善センターを出発し、前集落にある「木造阿弥陀如来坐像」(県指定保護文化財)・飯戸の両墓制を見学後、種原バス停から坊領道を歩きました。

前々飯戸間では、遠くに隠岐の島、美保関灯台を見ることができました。

坊領道は、まちづくり大山の活動によって整備されています。整備された道を、その昔、多くの人々が大山参りや牛馬を連れて牛馬市に向かう姿に思いを馳せながら歩きました。

# 紅葉と大山古道 (坊領道)を満喫



▲木料海岸でフィールドワーク中

海辺には、あまり知られていない自然や歴史・民俗が潜んでいます。ポイント場所では、講師や文化財室の職員、現地の方々の解説を聞き、「まちの宝」を発見する講座となりました。

秋晴れの爽やかな11月4日に、第5回大山学講座を行いました。

今回は中山の御崎漁港〜逢坂港〜松河原海岸のハマナス自生南限地帯、名和の木料海岸〜御来屋漁港〜大雀海岸を経由して、大山の平田海岸〜淀江漁港までの海岸部をゆったりと巡りました。

『大山魅力探訪〜海岸編〜』

名和公民館

# 第5回 大山学講座

## 『大山魅力探訪〜海岸編〜』